
「深下腹壁動脈穿通枝皮弁(DIEP flap)における動的血行 phase 分類についての検討」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと
行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用する
ことに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結
構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切
ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年4月1日から2022年8月25日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、乳がん
術後の再建にDIEP flap(腹部からの組織の移植)を使用した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

DIEP flapは自家組織を用いた乳房再建のメジャーな選択枝の1つとなっているが、乳房への移植
後の血行をリアルタイムに詳細な検討を行っている報告は少ない。今回は乳房再建の術中に行っ
ているICG造影の動画を解析することでDIEP flapの血行をいくつかのphaseに分類することを目的
とする。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテより手術所見、年齢、身体情報、治療歴等の検討項目、診察時に撮影した写真、
術中に撮影した写真や術中のICG造影の動画記録を用いて調査する。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者
である河野暉が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はあり
ません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテおよび診察時の写真、術中に撮影した写真やICG動画を我们用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野 暉(研究責任者)

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 三鍋 俊春

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 大西 文夫

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 加賀谷 優
埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 鈴木 愛弓
埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野 暉

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野暉

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3639(平日 9時～17時)

○研究課題名：深下腹壁動脈穿通枝皮弁(DIEP flap)における動的血行 phase 分類についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科 河野 暉